

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	大浜地区土地区画整理事業		
事業担当	都市整備部 都市整備課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	住みごこち 人にやさしい居住空間をつくる	
	'03	3 環境に配慮した都市基盤整備を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	施行地区住民、市民	事業期間	～ 平成26年度
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 施行地区住民】		
	目的・目標		事業の概要
都市基盤が整備され、安全で快適な生活環境が確保できるよう、まちづくりの具現化が図られています。		市内や広域からの集客を効果的に地区へ受け入れ、産業間の連携を促進するとともに、地区内の利便性の向上を図るため、主要な道路環境の整備を図ります。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	事業計画の進捗率(平成26年度まで)			単位	%
	説明・算定式	土地区画整理事業計画の進捗率。H23まで:78%、H24:新基本構想の策定2%、H25:新基本構想の策定10%、H26:関係機関協議5%、H27:都市計画・事業認可の手続き5%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	85	90	95		
	実績	80	90	95		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況		: 予定どおり				
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
大浜地区の段階的な地区整備について関係機関と協議を行い、先行して高浜台交差点から新港までアクセスする道路整備の推進を図ることとしました。						
平成26年度の検証結果	A : 成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	当該地区は、都市基盤が未整備な状況で、あらゆる災害に脆弱な地区となっています。東日本大震災後も居住の継続の意向が強く、減災機能を高めるインフラ整備の必要性は高いと思われます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	当該地区の特性から、本市における水産業を基本とした産業間連携の発展が大いに期待できます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	都市基盤が未整備なまま市街地が形成された地区の環境改善を図るには、土地区画整理事業の実施が最適ですが、財政負担等の課題が残されています。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	土地区画整理事業により地区の課題解消を図ることが可能ですが、他の事業手法による早期の地区整備も求められています。	高中低
今後に向けた課題の分析				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		新基本構想の策定	新基本構想の策定	関係機関協議	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,890	4,725	0	0
事業費 (A)		1,890	4,725	0	0
執行率 (%)		94.50	94.50	-	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の実施方針
課長コメント